

うえだ オレンジベスト 見守り情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和6年9月10日 R6-3号

第49回 長野県青少年補導活動推進大会

～ 伸びよう 伸ばそう 青少年 ～ 報告



県下の青少年補導委員 県内 19 市の関係者が一堂に会し、日ごろの活動における諸問題や成果を持ち寄り研修を行い、青少年補導活動の一層の発展に資することを目的に、7月11日(木) 小諸市文化会館にて大会が開催されました。

主催: 県青少年補導委員会連絡協議会・県青少年補導センター連絡協議会・県子ども・若者育成支援推進本部・小諸市

上田市からは、少年補導委員 10 名と少年育成センター事務局 5 名が大会に参加しました。

当日の講演内容の一部を紹介します。

演題 **発達障害による二次障害およびゲーム依存の現状と対応について**

講師 **独立行政法人国立病院機構 小諸高原病院 院長 村杉 謙次 氏**

『**発達障害**』とは、人の発達の特定の領域に、社会的適応の問題を引き起こす可能性のある凹凸(脳の働きのちがいによる特性)が生じたもの。環境の変化に脆弱なため、環境変化との相互作用により**二次障害**として、**生きずらさ**が現れやすい。

この **生きずらさ** が不登校やひきこもり等に現れ、合併して、依存やゲーム障害、非行に向かうことがある。

『**依存症**』は心理的苦痛を軽減・変化させるため、特定の物質の摂取、もしくは特定行動への強い渴望、制限することの困難さ、続けることによる不適応状態をまとめて指す**病気の概念**で渴望の増大と脅迫的な探索行動が核となる。脳科学的には、意欲および快・不快反応に関与する『**脳内報酬系**』とされ、欲求が満たされたときやわかったときに活性化される。『快』の感覚は、学習や環境への適応において重要な役割をもつ。



『**ゲーム障害**』はゲームに熱中し、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障が出る**病気**で、『**依存症**』と同様、脳科学的に、理性の機能が低下、本能・感情の機能が活性化して、依存から抜け出すことが困難となる。

〈治療・支援〉

ゲーム・ネット依存プログラム (KOARA)

- ・世界にただ一つだけ正直になれる場所(安全)を確保する。(本人を中心に秘密厳守と傾聴)
- ・「否認」「内省」を傾聴から引き出し、共感の中に気づきを促す質問をする。(「否認」は回復の兆候で、問題を自覚していることの表れ。過度な行動を正常に戻す認知行動療法が推奨される)
- ・自己決定・自己責任を尊重し、自助グループ・集団プログラムを活用する。(楽しみを参加メンバーやスタッフと一緒に考え体験 → 楽しさの実感)

国立病院機構 小諸高原病院 ゲーム・ネット依存プログラム KOARA(KOmorO Addiction Recovery Association)

目的: インターネットやゲーム以外の楽しみを、参加メンバーやスタッフ(看護師、作業療法士、心理士)と一緒に考え、体験する中でみつけ、今、そして将来もバランスの良い生活をみつけていく。

方向性: 『やめることを強制しない』『ネット・ゲーム以外の楽しさを実感してもらう』『プログラム内容も自分達で作っていく』『食事を楽しむ』など

構造: 参加者…4~8名。年齢層…9~25歳。日時…毎週火曜日 10時~14時(含 昼食)
プログラム…参加者が活動内容を決めたプログラムを実施(室内でカードゲームや体育館でスポーツなど)

連携: さいがた医療センター、新潟県立精神医療センター、関病院 と合同でオフラインキャンプ実施(R5.8/17-18 妙高青少年自然の家)



ゲームがやめられない 家族ともめることが多くなった 使用時間がかなり長くなる 絶えず気になる
考えたくないことがあってゲームに没頭する 昼夜逆転して昼間ねむくてだるい 学校を休みがち
他のことに興味を示さなくなる 注意すると激怒する 嘘をつく
ゲームばかりしている子どもとどう関わっていいかわからない ゲームやネットのことで怒ってばかりいる
子どもの将来が不安になってしまう

〒384-8540 長野県小諸市甲 4598 番地 TEL:0267-22-0870 FAX:0267-23-7034 電話受付 平日 15:00-17:00

< 相談は 地域連携室まで >

ホームページ→





少年補導委員の活動紹介①

夜間巡回

6月28日(金) 7月5日(金) 20:00-20:30

市民の文化交流拠点 サントミュージーゼの施設・芝生広場～アリオ上田店周辺と、上田城跡公園やぐら下多目的広場・上田駅前周辺を2週にわたり夜間巡回しました。



今回は、東部・神川・南部・豊殿地区の皆さんに御協力をいただき、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の

活動の一環として夜間に移動巡回を実施しました。

上田警察署生活安全課の生活安全少年係の方から最近の市街地の様子のお話をうかがった後に巡回をスタート。

サントミュージーゼ芝生広場で(文化祭の)Tシャツ姿でパフォーマンスの練習をする若者たち(高校生)に(メッセージ入りの)ポケットティッシュを配りながら、文化祭の様子や帰宅時間の確認等声かけと見守りの活動をしました。

若者たちは、皆気持ちよくあいさつを返してくれました。中には「おこられるのかと思った」と笑顔でこたえ、会話を交わすグループもありました。

サントミュージーゼ / アリオ上田 /

上田城跡公園やぐら下多目的広場 / 上田駅前 周辺



スケートボード・バスケットボールを楽しむ若者たちは「9時の消灯を解散時間に練習しています！」と元気に答えてくれました。

駅前には、文化祭の準備からか、やや帰宅時間が遅くなった高校生の姿が多く見られました。

サントミュージーゼ芝生広場を足元に注意しながら巡回していると、一つのベンチの周りに、たくさん(20本余)の吸殻と複数の飲みかけペットボトルが散乱していました。

昨年、サントミュージーゼ職員の方からうかがったゴミの散乱の実態を、活動の中で直接見ることにになりました。

参加された委員さんからは「声かけは見えない効果があると思えた」との感想をいただきました。



定期街頭活動連絡票(報告書)から・・・

コロナ禍が一息ついた昨今、こんな報告や感想が寄せられました

大人のタバコのポイ捨てを見たら？

最近、歩道のごみが目につく・・・

タバコの吸殻がまとまって落ちている・・・

上田市には「ポイ捨ての防止等に関する条例」(H18～)があり、回収措置の指導、勧告に従わない場合は罰金が課せられます。

少年補導委員は、ポイ捨ての取り締まりや警告・指導する立場にありませんので、ポイ捨て『防止・予防』に向けた声かけや巡回・巡視の活動をとおして、市民の目としての環境浄化を目指して活動しています。

活動の中で、積極的にごみ拾いや片付け等を行っている班・委員さんからの報告もいただいています。

ごみを落とした子どもを見た人が「おやおや 落とし物したヨ…」と声をかけ、子どもたちに『落とし物』を拾わせ、「行方不明の落とし物にならなくて良かったネ」と声かけをしたという話があります。

環境や社会に対して、自分ができること、すべきことを自身の納得解として内在化することがあたりまえの行動心理(マナー)につながります。

子どもだけでなく、広い視野を持って気がつくことが出来る人・行動する大人でありたいと思います。

～ ～ 上田市の 輝く子どもたち ～ ～

「楽しくなければ学校じゃない」 ～感性・豊かな心・優しさを育む～

少年補導委員会 全体研修会(6月27日) さくら国際高等学校 校長土屋範芳先生と在校生の皆さんの発表 から



少年補導委員会では、子どもたちの居場所となっている各所の状況を知る活動として、児童クラブや児童センター・シネマクラブ・養護学校などを訪問しての研修や、子どもたちが多くの時間を過ごす学校との情報連携の機会を設け、社会全体の中で多様化する青少年の活動や居場所を知る取り組みをしています。

さくら国際高校は、2006年4月 上田市手塚の旧西塩田小学校の校舎を利用するかたちで私立の通信制高等学校として開校しました。

「地域と共に在る学校」

「いつか咲く... 思いどおりに きっと咲く...」をコンセプトに、美術・イラストコース、動物・ペットコースといった専門性のあるコースを設置し、通信制・単位制・本校通学型 等 多様な学びのスタイルを取り入れて生徒一人ひとりに心から寄り添い、ともに考える、あたたかみあふれる教育活動を展開しています。

全体研修会では、学校を代表して、土屋校長先生と、自分らしく明るく高校生活を送っている4名の在校生の皆さんに学校生活について発表(紹介)をしていただきました。

< 委員の皆さんから寄せられた感想の一部を紹介します >

○それぞれの生徒さんが、自分だけが感じている良さをやわらかい表情で話してくださいました。特に、それぞれの志望動機を語った場面では、苦しい過去のことを乗り越えた上でのしっかりした自分の思いを表現している姿に感動しました。さくらの生徒たちが、社会に出て自己表現、自己開示していく未来を予想できるすてきな時間でした。

(塩田 補導委員)

○学校生活を、生徒さん達が主体的に作りあげていることが、生徒さん達自らの発表でより強く感じる事ができました。(南部 補導委員)



○今は、高校も色々な選択肢があり子どもたちは、幸せだと思います。(東部 補導委員)

○『学校は楽しい』『自分自身をそのまま温かく包み込む存在』『自分を安心して表現できる場所』『人との温かいつながりを学べる場所』ということが後から後から伝わってくるもので心を揺さぶられました。なんてすてきな学校なのだろうと、心が温かくなり、自分自身の学校・学級もそうありたいと思いました。

(小学校 補導委員)

○不登校等で、なかなか一歩前に進めないことで悩む生徒、支える家庭がある中で、こうした学びの場があることを 知らない、知っていても奥深い部分まで知らない状況もある中で、もっともっと(学校を)知ってほしいと思いました。

(塩田 補導委員)

○小中学校の不登校の問題、さらに進学した高校の環境に馴染めず転校を余儀なくされた生徒の受け皿としての高校の意義は分かる気がします。『誰一人取り残さない』教育を実践しているようにも思います。(川辺泉田 補導委員)

○この場で立派にプレゼン(発表)をやりきれることから充実した学校生活を過ごしていると感じられました。特に転入の話など現中学校の生徒にとって大変参考になるプレゼンだと思いました。中学校の進路講話にぜひ登場していただきたいと思います。(中学校 補導委員)

○課外授業でも、自然環境や歴史的文化施設を見学し学習資源としての活用も地域(塩田平は揃っている)の特性を理解できますね。(川辺泉田 補導委員)

○さくら国際高校生徒の参加で、別所温泉伝統の祭りが毎年ぎやかに楽しく行われています。今年も7月14日には生徒たちが参加してくれる「岳の幟」祭りが始まります。(別所温泉 補導委員)

○西塩田小学校の卒業生として、ほぼ昔のまま(建物を)残し学んでいてくれてありがとうございます。また、地域に密着して色々な行事に参加し助けていただいている様子がありがとうございます。(西塩田 補導委員)

○自分の隠れた才能を見だし、各種活動の中で、更に前へ踏み出して欲しい
と思い『頑張っ
て』とエールを
送りたい。

～いつか咲く
思いどおりに
きっと咲く～
を信じて
(塩田 補導委員)



下記を参考に、各班で活動の計画をよろしくお願いします。

1日 東部A B	6日 北部A B	11日 中塩田A B	16日 依田 長瀬 塩川
2日 神川A B	7日 西部A B C	12日 西塩田 別所温泉	17日 長 傍陽 本原
3日 南部A B	8日 城下A B	13日 川辺泉田A B C	18日 武石
4日 中央A B	9日 神科A B	14日 川西 内村	
5日 塩尻	10日 豊殿 東塩田	15日 丸子中央A B	



お知らせ 掲示板

7月-11月 環境浄化(環境チェック)活動期間

- 9/11 (水) 少年育成センター活動「ショッピングセンター・市街地」〈指定班〉
- 10/3 (木) 理事会〈市役所〉
- 10/7 (月) 研修視察 〈希望委員〉 予定
- 11/1 (金) 『子ども・若者育成支援強調月間』『有害環境浄化活動強化月間』
上田駅前啓発活動 〈県上田地域振興局・少年補導委員会役員・少年育成センター事務局〉
- 11/2 (土) 青少年健全育成県民大会 中野市 〈希望委員〉
- 11/8 (金) 少年育成センター活動「地域と学生の連携拠点・繁華街」〈指定班〉
- 11/28(木) 地区会長・班長会〈中央公民館〉

毎月 第三日曜日は
「家庭の日」です

少年補導委員の活動紹介②

少年育成センター活動A <サントミュージゼ・アリオ上田> 7月24日(水)

夜間巡回の活動に連動した取組みとして、夏休み期間の午後、サントミュージゼを訪問し、隣接するアリオ上田店を「安全・安心」の視点で環境チェックの活動をしました。活動には、豊殿・丸子中央A・依田・武石地区の皆さんに御協力をいただきました。

市役所で行った打合せでは、商業施設における「トイレ」「遊具やキッズスペース事故」「入りやすく 見えにくい場所」の危険性について研修し、アリオ上田店の環境フィールドワークに臨みました。

“市民の憩いの場”サントミュージゼでは、夜間巡回に参加していただいた委員さんから当日の感想を話していただき、総務担当係長から施設の近況や周囲の状況をうかがいました。施設を利用する若者たちに、サントミュージゼの職員さんが積極的に声かけをすることで、ごみの持ち帰りに繋がったり、文化祭前の高校と情報交換を行った事例等が紹介されました。

アリオ上田店では、ゲームセンターの方から青少年への対応や声かけについてお話をうかがいました。子どもたちのお金の動きにも注意を払うスタッフの対応が紹介され、未成年者の入場制限について具体的運用と声かけ等を確認させていただきました。

その後、喫煙室・トイレ・駐輪場・休憩スペース・目が届きにくい場所等を中心に環境チェックを行いました。

< 補導委員会の活動とサントミュージゼの軌跡 >

2014年10月2日 開館

プロムナード 9:00-22:00 開館

2020年秋 センター活動訪問

外庭で喫煙・飲酒、ごみ散乱
バイクの乗入れ
親水広場(プール)に瓶の投入
水銀灯・柱・植込みの破損被害
→警察に相談、防犯カメラ設置

2021年夏 夜間巡回活動 開始

多目的トイレの不適切使用
トイレで髪染め
渡り廊下屋根に上る若者

文化祭前、高校生が大勢集結
水風船散乱

→サントミュージゼの内外施設～
アリオ上田店巡回
並行して、市役所安全パトロール
チーム青パト車巡回

2022年夏 夜間巡回活動

城跡公園やぐら下多目的広場巡回を加え、上田警察署生活安全課と連携して2夜実施

2023年夏 夜間巡回活動

上田駅前広場巡回を加えて実施

2023年12月6日 センター活動訪問

外庭に吸殻、花火、食品ごみ
22時閉館後も若者が外庭に居る
文化祭木曜日に高校生が大集結
→関係高校に連絡、対応依頼

2024年夏 夜間巡回活動

外庭に吸殻・ペットボトル散乱

2024年7月24日 センター活動訪問

水道流しへの入浴剤投入いたずら
芝生での自転車やキックボード使用
駐輪自転車の未施錠多
ダンスBGMの音量大
外庭の喫煙と吸殻の散乱

